

3R

情報
発信

活動
支援

学習
体験

2020. **11**
Vol.176

大切なのは「つくる責任・つかう責任」(SDGs:目標12) まだ着られる衣類、リユースしましょう!

今年はコロナ禍で在宅時間が増え、思い切って家の中の片づけをする人が増えています。処分したいものの中で最も多いのが衣類。皆さんはどのような方法で手放していますか?

日本では食品の次に多いとされる衣料品の廃棄。リユース(再使用)される衣類はわずか1%にとどまっています。あまり知られていませんが、ファッション産業は消費する水と廃水の量、海洋に流れ出すマイクロプラスチック量、CO2排出量、埋め立て及び焼却処分される量など、あらゆる視点から世界で第2位の環境汚染産業と言われていています。しかも近年は安価なファストファッションの台頭で、世界中の消費者がより多くの衣類を購入するようになり、買い替えと廃棄を促す結果になっています。

こうした厳しい現状から抜け出すため、いま生産者にも消費者にも変革が求められています。「つくる」側では数多くの企業が衣料品回収制度を導入したり、中古衣料のリサイクル・プログラムに参加するなどの動きが始まっています。「つかう」側の私たち消費者も、着なくなった服をただ「ごみ」として捨てるのではなく、次の使い手を探してあげましょう。たとえば知人に譲る、リサイクルショップやフリーマーケットで売るなど方法はいろ

いろ。西部3Rステーションでも不用になった衣類を無料で引き取り、必要とする方へ無料で提供するリユース事業を行っています。

またマスコミ等で紹介され話題を呼んでいるのが、日本リユースシステム株式会社の「古着deワクチン」。集めた古着を主に開発途上国に送ることで、衣類がリユースされるだけでなく、その国で販売するためのビジネスと雇用を生み、さらに申込み一回につき5人分のポリオワクチンを寄付できるというもの。環境省のグッドライフアワードやジャパンSDGsアワードの特別賞を受賞した取り組みです。専用キット(有料)を注文し、届いた回収袋に不用な衣類を詰めて宅配業者に集荷を依頼するだけ。家に居ながらリユースできる手軽さも魅力です。

皆さんも自分に合った方法で、不用になった衣類をリユースしましょう!

